



再送信間隔および再試行回数の設定

- 機能情報の確認, 1 ページ
- アクセス ポイントの再送信間隔と再試行回数の設定の前提条件, 1 ページ
- 再送信間隔および再試行回数に関する情報, 2 ページ
- アクセス ポイントの再送信間隔と再試行回数の設定方法, 2 ページ
- CAPWAP の最大伝送単位情報の表示 (CLI) , 4 ページ
- CAPWAP の最大伝送単位情報の表示 (GUI) , 5 ページ
- アクセス ポイントの再送信間隔と再試行回数の設定の設定例, 5 ページ

機能情報の確認

ご使用のソフトウェアリリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報と注意事項については、ご使用のプラットフォームとソフトウェアリリースに対応したリリース ノートを参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

アクセスポイントの再送信間隔と再試行回数の設定の前提条件

- 再送信間隔と再試行回数の両方とも、グローバルと特定のアクセス ポイント レベルで設定できます。グローバル設定では、これらの設定パラメータがすべてのアクセス ポイントに適用されます。また、特定のアクセス ポイント レベルで再送信間隔と再試行回数を設定すると、値はその特定のアクセス ポイントに適用されます。アクセス ポイント固有の設定は、グローバル設定よりも優先されます。

再送信間隔および再試行回数に関する情報

スイッチとアクセスポイントは、Control And Provisioning of Wireless Access Points (CAPWAP) の信頼性の高いトランスポートプロトコルを使用してパケットを交換します。各要求に対して、応答が定義されています。この応答を使用して、要求メッセージの受信を確認します。応答メッセージは明示的に確認されません。したがって、応答メッセージが受信されない場合は、再送信間隔後に元の要求メッセージが再送信されます。最大再送信回数が過ぎても要求が確認されないと、セッションが終了し、アクセスポイントは別のスイッチに再びアソシエートされます。

アクセスポイントの再送信間隔と再試行回数の設定方法

アクセスポイントの再送信間隔と再試行回数の設定 (CLI)

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ap capwap retransmit interval *interval_time***
4. **ap capwap retransmit count *count_value***
5. **end**
6. **ap name *Cisco_AP* capwap retransmit interval *interval_time***
7. **ap name *Cisco_AP* capwap retransmit count *count_value***
8. **show ap capwap retransmit**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Switch# enable	特権 EXEC モードを開始します。
ステップ 2	configure terminal 例： Switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	ap capwap retransmit interval <i>interval_time</i> 例： Switch(config)# ap capwap retransmit interval 2	すべてのアクセスポイントに対してコントロールパケットの再送信間隔をグローバルに設定します。 (注) 間隔パラメータの範囲は 2 ~ 5 です。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	ap capwap retransmit count <i>count_value</i> 例: <pre>Switch(config)# ap capwap retransmit count 3</pre>	すべてのアクセスポイントに対してコントロールパケットの再試行回数をグローバルに設定します。 (注) 回数の範囲は 3 ~ 8 です。
ステップ 5	end 例: <pre>Switch(config)# end</pre>	特権 EXEC モードに戻ります。また、 Ctrl+Z キーを押しても、グローバルコンフィギュレーションモードを終了できます。
ステップ 6	ap name <i>Cisco_AP</i> capwap retransmit interval <i>interval_time</i> 例: <pre>Switch# ap name AP02 capwap retransmit interval 2</pre>	ユーザが指定した個々のアクセスポイントに対してコントロールパケットの再送信間隔を設定します。 (注) 間隔の範囲は 2 ~ 5 です。 (注) ap name コマンドを使用するには、特権 EXEC モードにする必要があります。
ステップ 7	ap name <i>Cisco_AP</i> capwap retransmit count <i>count_value</i> 例: <pre>Switch# ap name AP02 capwap retransmit count 3</pre>	ユーザが指定した個々のアクセスポイントに対してコントロールパケットの再試行回数を設定します。 (注) 再試行回数の範囲は 3 ~ 8 です。
ステップ 8	show ap capwap retransmit 例: <pre>Switch# show ap capwap retransmit</pre>	CAPWAP の再送信の詳細を表示します。

アクセスポイントの再送信間隔と再試行回数の設定 (GUI)

- すべての AP に適用可能なグローバルコンフィギュレーション
 - a) [Configuration] > [Wireless] > [Access Points] > [Global AP Configuration] と選択します。
[Global Configuration] ページが表示されます。
 - b) [AP Retransmit Config Parameters] 領域で、次のパラメータの値を入力します。
 - **AP Retransmit Count** : アクセスポイントからスイッチに要求を再送信する回数。有効な範囲は、3 ~ 8 です。
 - **AP Retransmit Interval** : 要求の再送信の間隔。有効な範囲は、2 ~ 5 です。
 - c) [Apply] をクリックします。

- d) [Save Configuration] をクリックします。
- 特定の AP に適用可能な設定
 - a) [Configuration] > [Wireless] > [Access Points] > [All APs] と選択します。
[All APs] ページには、アクセス ポイントのリストが表示されます。
 - b) アクセス ポイント名をクリックします。
[AP > Edit] ページが表示されます。
 - c) [Advanced] タブをクリックします。
 - d) [AP Retransmit Config Parameters] 領域で、次の AP Retransmit Count および AP Retransmit Interval パラメータの値を入力します。
 - **AP Retransmit Count** : アクセス ポイントからスイッチに要求を再送信する回数。有効な範囲は、3 ~ 8 です。
 - **AP Retransmit Interval** : 要求の再送信の間隔。有効な範囲は、2 ~ 5 です。
- e) [Apply] をクリックします。
- f) [Save Configuration] をクリックします。

CAPWAP の最大伝送単位情報の表示 (CLI)

手順の概要

1. **enable**
2. **show ap name *Cisco_AP* config general**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例 : Switch# enable	特権 EXEC モードを開始します。
ステップ 2	show ap name <i>Cisco_AP</i> config general 例 : Switch# show ap name Maria-1250 config general include MTU	スイッチの CAPWAP パスの最大伝送単位 (MTU) を表示します。MTU は、送信されるパケットの最大サイズ (バイト) を指定します。

CAPWAP の最大伝送単位情報の表示 (GUI)

- ステップ 1 [Configuration] > [Wireless] > [Access Points] > [All APs] と選択します。
[All APs] ページが表示されます。
- ステップ 2 AP 名をクリックします。
[AP > Edit] ページが表示されます。
- ステップ 3 [Advanced] タブをクリックします。
[CAPWAP MTU] フィールドには、CAPWAP の最大再送信単位の情報が表示されます。

アクセスポイントの再送信間隔と再試行回数の設定の設定例

CAPWAP 再送信の詳細の表示 : 例

次のコマンドを入力します。

```
Switch# show ap capwap retransmit
Global control packet retransmit interval : 3
Global control packet retransmit count : 5
```

AP Name	Retransmit Interval	Retransmit Count
3602a	5	3

最大伝送単位情報の表示 : 例

次に、スイッチの CAPWAP パスの最大伝送単位 (MTU) を表示する例を示します。MTU は、送信されるパケットの最大サイズ (バイト) を指定します。

```
Switch# show ap name cisco-ap-name config general | include MTU
CAPWAP Path MTU..... 1500
```

